

# 「地域のつどい」が開催されました

(第18期2回目 松見地区)

開催日：平成26年12月5日(金)

場所：松見連合会館

参加者：49名



第18期神奈川区民協議会第2回目の「地域のつどい」が松見地区で行われました。

松見地区は、JR横浜線大口駅の北西、綱島街道との間に位置し、5,500世帯あまりが暮らしています。地域活動はとても盛んで、6月の福祉演芸大会、8月の盆踊り、11月のふるさと祭りを始め、年2回のグラウンドゴルフ大会と1年を通して様々なイベントが行

われています。福祉演芸大会では、小学生からお年寄りまで幅広い層の方々が参加され、カラオケ、フラダンス、日舞、奇術、詩吟など多彩な芸が披露されるなど、各町会、各種団体との連携、交流も活発な地域です。松見地区の皆さんとの意見交換の中から、その一部ではありますが、ご紹介させていただきます。

- ①生ごみの嵩の減量やびん缶の捨て方について
- ②道路の角にある大木やどんぐりの実の問題
- ③大型ごみの不法投棄の問題
- ④道路拡幅に伴い空き地ができるようだが、公園とし、防災倉庫を併設できないか
- ⑤保育園前が送迎の車で混雑するので、安全な駐車スペースを確保できないか
- ⑥公園の奥に金網で囲まれた部分があるが、たまにしか草刈りされない
- ⑦犬の糞や野良猫への餌やりなどマナーの問題
- ⑧公園等での草刈り業者は、ごみがあってもそのまま残していく
- ⑨歩道上に置かれた植木鉢などで通行の妨げになっている
- ⑩LED防犯灯が故障した際、修理に2か月もかかったので行政の対応の迅速化を望む
- ⑪大口駅前の自転車置き場をもっと充実してほしい



寒い夜の開催にもかかわらず、多数ご参加していただき、松見地区の皆さまありがとうございました。